

若者ライフデザインに関する調査研究事業報告

昨年度実施した「若者ライフデザインに関する調査研究事業」の目的、内容及び全体の流れについては、本誌1月号ALPSの石川県奥能登2市2町の概要でご紹介したとおりです。本号では、長崎県壱岐市と山形県庄内地方（鶴岡市・酒田市）の2つのモニター市町村の事業概要を簡単に紹介します。

長崎県壱岐市

若者ライフデザインセミナー

2015年8月24日（月）

■ 壱岐市の男性を対象にワークショップ開催

- ・自分たちの「まち、仕事、結婚」の未来を考え整理
- ・首都圏女性へのPR動画を作成



2015年9月12日（土）

■ 首都圏の女性を対象にPRイベントを開催

- ・壱岐の暮らしを考えるワークショップ、動画鑑賞、移住者からのメッセージ、ライフプラン講座等



2015年9月27日（日）

■ 壱岐市の男性を対象にライフデザイン講座

- ・結婚力アップ講座
大切にしたい！「婚活の心構え」
- ・第一印象で選ばれる人になることができる自分へ！ワークで実践してみよう！



体験型交流ツアー

2015年11月14日（土）～15日（日）

■ 参加者 首都圏及び福岡の女性：18人（女性） 現地の男性：19人（男性）

- ・現地での暮らしぶり視察、自然散策とツアー記念品の作成
- ・ライフプラン講座 ・移住した女性からのメッセージ
- ・ワークショップ
- ・交流会、フリータイムでの意見交換等



【交流ツアー参加者の声】

- ☆より合う人をマッチングしてくれて、行動が積極的になった。
- ☆地元参加者のアイデアを取り入れると、また違った楽しさがあると思う。
- ☆まったく異なる地域、性別、年齢を問わず初めての1泊2日だったのにも関わらずそれを感じさせないほどの時間であった。
- ☆人の温かさ（参加者だけでなく、スタッフなどすべて）が感じられてよかった。
- ☆壱岐の男性はしっかり自分を持った方が多く、頼りがいのある方が多いと思った。

【自治体担当者】

今回初めてライフプラン講座を盛り込んだイベントを実施しましたが、パーティー的な要素をなくし、真剣に男女が向き合い、将来について考える時間を設けることで、大変多くのカップルが成り立し事業が大成功した。

【壱岐市 白川 博一 市長】

成婚、移住に結びつくことが重要。今後も人口減少対策に力を入れたい。

【ツアーに同行した講師 高橋 聡典 氏のコメント】

ツアーで多数のカップルが誕生した秘訣は、男性全員がツアー前に開催されたライフデザインセミナーに参加し、当日までに改善点を克服する行動をしたことです。

山形県庄内2市
(鶴岡市・酒田市)

若者ライフデザインセミナー

2015年8月3日(月)・11月21日(土)

■ 鶴岡市、酒田市の男性を対象にワークショップと結婚力アップ・ライフプラン講座を2回に分けて開催

- ・自分たちの「まち、仕事、結婚」の未来を考え整理
- ・首都圏女性へのPR動画を作成
- ・結婚力アップ講座
- ・ライフプラン講座



2015年9月26日(土)

■ 首都圏の女性を対象にPRイベントを開催

- ・庄内地方での暮らしを考えるワークショップ
- ・ライフプラン講座
- ・庄内地域の芋煮を調理体験、動画鑑賞



体験型交流ツアー

2015年12月12日(土)～13日(日)

■ 参加者 首都圏の女性：6人(女性)
現地の男性：7人(男性)

- ・鶴岡、酒田市内をバスで移動
- ・自然散策と精進料理(現地の風と味を体験)
- ・少人数でのツアーという点を最大限に活かし、参加者が力を合わせ、体験を旅行記(フォトブック)として制作



ツアー参加者がペアになって撮影したフォトブック用写真(一部)



【交流ツアー参加者の声】

- ☆庄内男性はみんな、ナチュラルというか、装わなくても感じよく楽しく、みんな好きになった。
- ☆精進料理や羽黒山など魅力的な食事や体験ができ、参加者からも仕事や生活のことまで聴けた。
- ☆少人数なのでじっくり交流できた。
- ☆ガッツリ婚活ツアーですぐに結婚にこぎつける人もいれば、このような友達から…という交流体験ツアーが合う人もいると思う。自分の交流の好みの傾向を考えるきっかけにもなった。

【自治体担当者】

- ・参加者が自分の住む地域の良さを再発見するきっかけにもなり、良かった。
- ・行政と事業者の役割分担、スケジュール管理などもっと情報共有を密にして早めの準備ができていればもっと効果的なものとなったと思う。セミナーの内容は良かった。
- ・当初の段階でプログラムの中身がもっと固まっていると良かった。

【調査研究事業を終えて】

初めての調査事業であり、石川県、長崎県及び山形県内のそれぞれの地域にご協力をいただきました。

このセミナーやツアー等に参加した若者、ご協力をいただいた各自治体の担当者・関係者の方々も、改めて「自分のまち、自分のしごと、自分の生き方」について向き合い、考え、未来を見つめたようです。今年度も、地方自治体の結婚支援や地元定着率の向上の一助になるよう、事業のあり方について検討、工夫を重ねていくこととします。